

研修事例

後継者育成

支援先

笠間焼産地

笠間焼後継者育成研修

【内 容】

本研修は、県内工芸陶磁器業界の後継者の確保・技術水準の向上を図る目的で実施しています。

平成25年度 研修コースについて

	期 間	内 容
成形基礎コース（8名）	2年制	ろくろ成形を中心とした基礎技術の研修
成形実践コース（1名）	1年制	商品企画，開発を中心に学ぶ研修
釉薬基礎コース（3名）修了	3ヵ月制	釉薬原料・ゼーゲル計算等の釉薬基礎を学ぶ研修
釉薬実践コース（2名）	9ヵ月制	釉薬開発手法を学ぶ研修

今年度は、12名が修了予定です。現在まで累計783名が修了しています。笠間市周辺で工芸陶磁器業を営む人たちの約6割が研修修了者で、地場産業の後継者育成に大いに貢献しています。



図1 研修風景



図2 ワークショップ風景

本研修を強化する目的で全国区レベルの講師を招へいし、現代陶芸に必要な知識を身につける特別講座および、時代に即した形状・色彩・文様・商品デザインを体験しながら学ぶワークショップを試行的に行いました。

研修生だけでなく製陶従事者の参加もあり、特別講座は4回計158名、ワークショップは4テーマ計196名の充実した内容となりました。

基礎となった事業

平成 25 年度 人材育成事業，平成 25 年度 窯業指導所あり方検討事業

現在の担当部門

工芸技術部門	部 門 長	佐藤 茂	TEL:0296-72-0316
	主任研究員	常世田 茂	
	主 任	久野 亘央	
	嘱 託	佐藤 剛	
材料技術部門	主 任	吉田 博和	